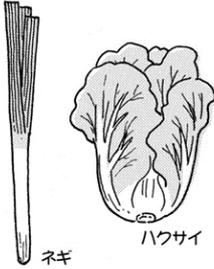


〈 定期テスト 1 問分析について 〉

今年度の研究の検証(1)③に関して、定期テストでの1問以上の出題&通過率などによる振り返りをお願いします。昨年度の1年理科の例を載せます。

問題文	出題の意図	正答率
<p>7 ビニルハウスでイチゴをつくっている農家がある。その農家では、イチゴの花がさくころにビニルハウスにミツバチの巣箱を入れてミツバチを放す。ミツバチを放した方がイチゴがたくさん実るそうだ。その理由を考えて書きなさい。 (思考・判断・表現 3点)</p>	<p>7 果実や種子ができるためには、受粉する必要があることを理解し、受粉の仕組みについて必要な情報をふくめて説明することができるか。</p>	<p>3点 15.3% 2点 41.0% 1点 34.6%</p>
<p>9問5 太郎さんは、スーパーに野菜を買いに行き、ネギとハクサイを買って家に帰った。野菜はきれいに洗ってあり、根も切りとってあった。ネギやハクサイの種子が発芽するときの子葉はそれぞれ何枚だろうか。そのように考えた理由もつけて説明しなさい。ただし、「葉脈」という語句を用いること。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 20px;">  </div>	<p>9 単子葉類と双子葉類はそれぞれの子葉の数、葉脈のようす、根のつくりの特徴に注目し、葉脈のようすから子葉の数を推測し説明できるかどうか。</p>	<p>3点 43.5% 2点 5.1% 1点 23.0%</p>

補足説明やその他記載すべきこと、振り返りなどをお書きください。

<p>7 無回答の生徒はほとんど見られなかった。ミツバチが花粉をめしべに運んで受粉することでイチゴができやすくなるということを説明するのに、「花粉」、「めしべ」、「受粉」のいずれかの語句が不足して説明が不十分な生徒が多く見られた。 果実や種子ができるためには受粉が必要であることや、受粉とはどのようなことをいうのかということの説明する部分に課題が見られる。</p>
<p>9 双子葉類だから子葉は2枚、単子葉類だから子葉は1枚だという知識を用いて説明できている生徒が多かった。しかし、子葉の枚数を問う問題であるのに、「双子葉類だ」、「単子葉類だ」と、問われていることとは異なることを結論にして答えている生徒も3割ほどいたため、問題文をきちんと読みとることに課題が見られる。</p>

各学年各教科で作成して頂き、

データ：③研究部→①学校研究→★定期テスト分析→1学期期末 にファイルを入れてください。

7月10日(水)夕方までをお願いします。